

夢:大淫婦の杯を飲む

2009年5月28日 アシェル・イントレーター

祈りのリクエスト:

1. **ティクン・インターナショナル(注1)**:今週末(訳注:5月30日前後)に行われるティクン USA メシアニック・コングリーゲーションとその指導者たちの会議において、刷新、活性、そして突破口が開かれるように。
2. **Call2All 香港(注2)**:今週(訳注:6月4日前後)の国際的な宣教会議の歴史的な開催について。そこですべての参加者がイスラエルに関するビジョンを受け入れることを。
3. **イスラエルでのシャヴオット(ペンテコステ)**:今週イスラエルのメシアニック共同体はシャヴオット(ペンテコステ)を祝います。どうか一致、聖霊の注ぎ、そしてイスラエルのメシアニック同盟主催の全国的なピクニック交流会が成功裏に終わることを。

注1:ティクン・インターナショナル:アメリカ、メリーランド州に本拠地を置くメシアニック・コングリーゲーション(アメリカでは15箇所、イスラエルでは2箇所)を統括する団体。**エペソ4:11の「五役者:使徒、預言者、伝道者、牧師、教師」**を基礎としたメシアニック指導者の組織。イスラエルでは、アシェル・イントレーター師の「リバイブ・イスラエル」、エイタン・シシコフ師の「オハレー・ラハミーム(恵みの天幕)」、そして、デビッド・ルドルフ師のキプロス島にある弟子訓練センター「ゲートウェイ・ビヨズ(門の彼方)」がティクンに属し、同時にこの3名の指導者はティクンの指導部を占める。現在の代表はダン・ジャスター博士。(参考:Tikkun Ministries International HP <http://www.tikkunministries.org/>)

注2:Call2All(すべての人への召命):世界的な学生宣教団体であるキャンパス・クルセード・フォークライスト(CCC)を創設したビル・ブライト師によって設立された「世界牧会者ネットワーク」(Global Pastors Network: GPN)が主催する国際会議。主イエス・キリストがその弟子たちに命じた「大宣教命令」を達成するための戦略を話し合う会議として設立された。香港会議は2009年6月上旬に行われる。(参考:Christian Today 2008年10月24の記事)

<http://www.christiantoday.co.jp/main/international-news-1836.html>

夢:大淫婦の杯を飲む

最近私は嫌な夢を見ました。教会あるいは会議場のような大きな建物がありました。そこにいた人々はほとんど信者でした(クリスチャン、あるいはメシアニック・ジュー)。そこにいた人々は、上は教皇から下は私の団体のスタッフと、様々な立場の人々がいました。

ある時に誰かが蓋のある小さなプラスチックのコップを配り始めました（飛行機の中にある水飲み用の小さなコップのようでしたが、それより小さいものでした）。それぞれの蓋付きコップには透明な液体が入っており、大きな一口で飲み干せる量が入っていました。この液体は不品行の霊でした。ある者にとっては性的不品行であり、別の者には「霊的な不品行」でした。それは様々な情欲、強欲、人気取り、人に影響を及ぼすこと、コネを作ること、巧みな操作で名誉を得ること、自分の「宣教活動」に「中毒」になることまで含まれていました。

これらすべての「霊的な姦淫」は「惑わし」の霊に深く関わっています。惑わしは次のように働きます。誰かがその液体を飲むと、その人々の顔は輝き、好ましく見えました。すなわち、彼らは微笑み、魅力的に見え、積極的で、エネルギーに満ち、そして栄えているように見えたのです。それらすべてがあまりにも良く、素晴らしいと言ってもいいほどであり、聖霊による「油注ぎ」あるいはカリスマ的な賜物のようでした。しかし、それは悪魔的でした。その霊は人々を惑わして自身の罪や霊的な姦淫を見ないようにするものだったのです。ほとんどの人々がそれに囚われたため、その状況を正す方法がないように思われました。

その夢の中で悲しいことに、私もまたそれらの霊的な姦淫の一部になろうとしており、私自身その油注がれた液体の入ったコップを飲むためにその一つを取ろうとしていたのです。突然、夢の中で父がその会議に参加しており、そこにいました。（実際父は10年ほど前に主の元に召されました。）父は私と一緒に過ごそうと尋ねました。私は「もちろん、もちろん。」と言いましたが、父から逃れて誰かそのコップの一つを渡してくれる人を探し、その霊的な不品行を飲もうとしていました。

しかし私の父は私を見て、なぜ自分を避けるのだと尋ねました。その瞬間私は、自分がそのコップを求めているために父を避けていることに気がきました。そうして私は自分が罪に惑わされ罪に陥っていることを見始めました。そしてそこにいたほとんどの人が惑わされているのに気が付きました。

それから私は怒りだし、人々を指し始めて惑わしから出るように叫びました。そこで悔い改めて解放されるようと呼びかけがありました。その効果はまるで爆発か地震のようでした。直接指摘されたほとんどの人々がそれに積極的に反応し、強力な解放を受けました。彼らはそれらの霊的な惑わしに「囚われ」ていましたが、彼らはそれを意図していませんでした。

しかし、少数の人々がそのコップ配布を計画し、実行していました。彼らはそれを売り、それを意図的に行っていました。私が叫び彼らに指を指した時、彼らは悔い改めることを拒否し、ある者はそこでばったり倒れて死んでしまいました。

目を覚ました時、夢の中の私の父は天の御父を表していて、私への惑わしと罪を破ろうと探していたことに気付いたのです。その液体は大淫婦が持っていた杯のようでした。**黙示録 17:2**「地の王たちは、この女と不品行を行い、地に住む人々も、この女の不品行のぶどう酒に酔ったのです。」この

女は紫と緋の衣を着ていて、金と宝石と真珠とで身を飾り、憎むべきものや自分の不品行の汚れでいっぱいになった金の杯を手に持っていた。

私はまた大淫婦の飲み物はイゼベルとバラムの霊(黙示録 2:14,20)と同じであることに気が付きました。大淫婦とイゼベルは同じ霊であり、この悪霊が私に影響を及ぼすことを私は許してしまったのです。(黙示録 2:20)

私はまた主への恐れを感じました。私はここ数ヶ月喉頭炎と気管支炎に悩まされ続けていました。そして私は、イエシュアが、イゼベルのしもべたちが悔い改めるまで病の床に投げ込まうと言われたことを思い出しました。(黙示録 2:22)何てこった！

注: 私に対する誤解を招かないために。私は何らかの不品行に一切関わっていませんし罪を犯していません。しかし夢はこれら終わりの時に、惑わしの霊と霊的な姦淫、教会(私を含めて)を侵略する大淫婦の霊について語っているのです。神はこれらの問題についての意志や心を探られるのです。(黙示録 2:23)

では何が重要なのでしょうか。

黙示録 2:16「だから、悔い改めなさい。もしそうしないなら、わたしは、すぐにあなたのところに行き、わたしの口の剣をもって彼らと戦おう。」

黙示録 18:4 それから、私は、天からのもう一つの声がこう言うのを聞いた。「わが民よ。この女から離れなさい。その罪にあずからないため、また、その災害を受けないためです。」

祈り:「神よ、私たちが自分の罪を本当に悔い改め、惑わしと姦淫の霊から逃れ、それらを今、私から取り除いて下さいますように。イエシュアの名において、アーメン。」